

## B社様

対象：新入社員

人数：67名

形態：集合研修／屋内／体験活動

“社会人”としての  
コミュニケーション基礎の理解

“同期入社”としての  
コミュニケーションの活性化

# 社会人としてのコミュニケーション力の育成

## 活躍できる新入社員を育てる研修プログラム

### ご担当者様の思い

「チャレンジ」と「自律」をコンセプトに“社会人としてのコミュニケーション”を学び、待ちの姿勢ではなく主体的なコミュニケーションが取れる人材を育成したい。

### 目的

社会人としてのコミュニケーション基礎の理解  
同期入社社員として、コミュニケーション活性化

### プログラム概要

仕事をする上で基礎となる“コミュニケーション”を育むために、『グループ実習』を行った。一方通行のコミュニケーションを体験する実習、グループで課題解決に取り組む実習を通じて、コミュニケーションの重要性を体感する内容で構成。さらに、小講義を交えつつ、“社会人としてのリフレクションの視点”を学び、自身の成長やチームの現状を見つめ直す『リフレクション』を行い、学びを次につなげる方法を学んだ。体験型プログラムを通じて、参加者が実践的なスキルを身につけ、同期との結束を深める機会を提供した。

### 研修の流れ 4時間

01

#### Step 1

～導入（1時間）～

運営：全体、グループ

- ・オープニング
- ・オリエンテーション
- ・グループ実習①②
- 『一方向のコミュニケーション』
- 『グループでの課題解決』

02

#### Step 2

～学びを活かす（2時間）～

運営：全体、グループ

- ・小講義①
- 『コミュニケーションの視点』
- ・グループ実習③
- 『グループでの課題解決』

03

#### Step 3

～まとめ（1時間）～

運営：全体、グループ

- ・小講義②
- 『社会人としてのリフレクション』
- ・リフレクション
- ・コミットメント

## 一方向のコミュニケーション

日常でも起きているかもしれないコミュニケーションエラーへ気づく。  
実習を通して無意識に自分の枠組みで伝えたり・聞いたりしていることを認識する。



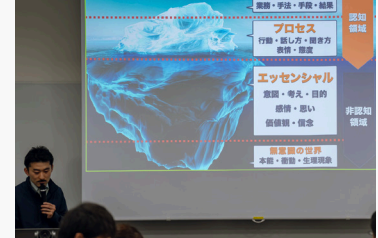
## グループでの課題解決

グループで断片的な情報を整理し、課題解決を行う。  
他者と仕事へ取り組むことを想定し、グループで課題解決を行う際のコミュニケーションの体感する。



## リフレクション/コミットメント

社会人として、体験や経験から学ぶという視点・力をつける。  
実習を踏まえ自身やチームの現状についてふりかえり、どのように次へ繋げていくかを考える。  
社会人としての目標を設定する。



## 研修後のアンケート & 参加者の声

### 『研修効果』

コミュニケーションについて、今後へ活かせるポイントや視点は得られましたか？

全体平均：3.8（はい4～1いいえ）

- 相手の考えや意図・感情などの見えない部分を意識したコミュニケーションを心がけることが大切だと感じた。
- 自分のコミュニケーションの取り方を振り返るという機会はなかなかないので、振り返ることで様々なことが意識できて、次につながるなど思ったからです。
- 「先入観が正しい認識を阻害してしまう」ことを、今回のワークを通し実感として得られたことで、今後より意識できるようになれたと思います。

### 『コミュニケーションの活性化』

研修前と比べて、同期とのコミュニケーションは取りやすくなりましたか？

全体平均：3.7（はい4～1いいえ）

- チームメンバー全員が積極的に実習に励む中で、話しかけやすい雰囲気ができたように感じた。
- 実習内容が面白く、楽しみながら同期が何を考えて伝えようとしているのかを意識できたから。
- 相手のコミュニケーションの癖や特徴をしっかりと理解することで、円滑な対話ができると学びました。

## 研修担当者所感

本研修は講義だけでなく実習を行うことで、自身の枠組み（コミュニケーションの傾向）を実感することができている。

また、他者と協働し成果を出すための“社会人としてのコミュニケーション”を想定したグループでの課題解決実習では、研修後すぐに活かせる気づきを得ることができている。

有限会社 エssenシャル エデュケーション センター  
代表取締役 田中 翔紘 (TANAKA SHOKO)



有限会社

Essential Education Center

人材育成、社員研修、組織分析などのご相談・お問い合わせは

コチラ <https://e-ec.co.jp/contact/>

